

参考2 1市3町の概況

1. 位置と地勢

相模原市、城山町、津久井町、相模湖町の1市3町からなる本地域は、神奈川県北部に位置し、北部は東京都、西部は山梨県と接している。

相模原市は、西に丹沢の山々を臨み、相模川の左岸に南北に細長く広がる相模原台地の北半分に位置している。

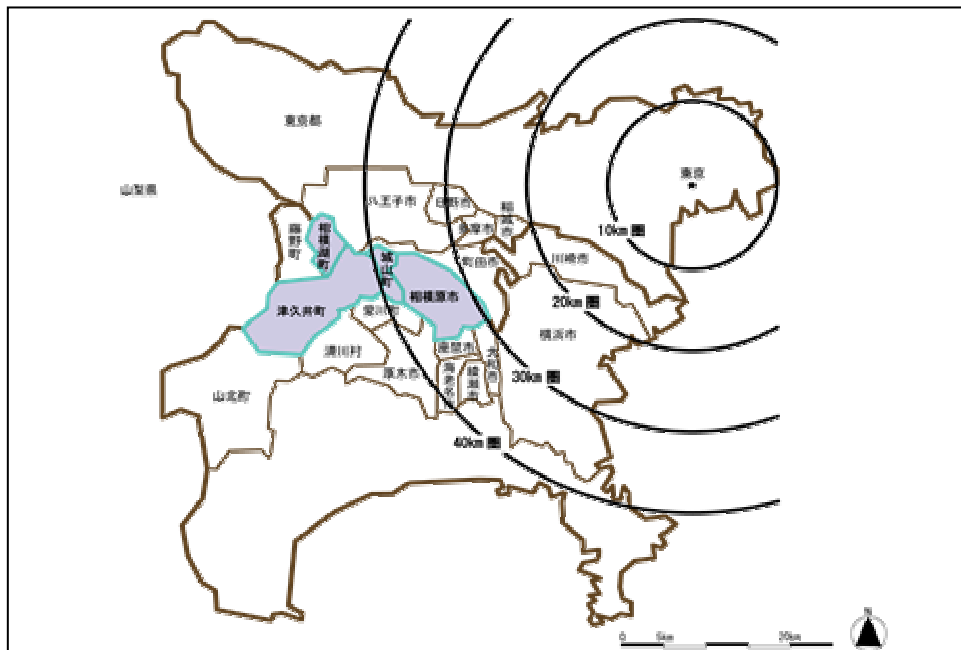
相模原台地は、相模川に沿った3つの河岸段丘からなるのが特徴で、高い方から相模原段丘（上段）、田名原段丘（中段）、陽原段丘（下段）と呼ばれ、なだらかな階段状になっている。これらの台地の間には、斜面緑地があり、相模川とともに、相模原市の水と緑の骨格を形成している。

城山町は、相模川沿いに続く平坦な相模原台地から山間部に入る地帯に位置している。東部は相模原市から続く平坦部として宅地化が進んでいる。中央部から南西部にかけて相模川が流れ、城山ダムにせき止められた津久井湖があり、南部は丹沢山系、北部は高尾山系に連なる山々や丘陵があり、また、北部には、水力発電を行うために造られた城山湖がある。

津久井町は、北東部は市街地が形成され、その周辺には優良な農地が展開し、これを取り巻いて津久井湖と緩やかな丘陵地が広がっている。北部には、町境に沿って道志川が、また南部には、串川がそれぞれ東西に流れ、その流域に緑豊かな街並みが形成されている。

相模湖町は、町のほぼ中央を相模川が東流し、そこに県民の水がめ相模湖があり、町を南北に二分する形になっている。

■ 1市3町の位置



2. 沿革

1市3町の現在に至るまでの沿革は、明治22年の市制町村制施行に伴う「明治の大合併」に始まり、昭和28年の町村合併促進法施行、昭和31年の新市町村建設促進法施行に伴う「昭和の大合併」を経て、以下のとおりとなっている。

■相模原市

年 月	沿 革
明治22年4月	座間村、新磯村、麻溝村、田名村、溝村、大沢村、相原村、大野村が誕生
大正15年1月	溝村が町制を施行し、上溝町が誕生
昭和12年12月	座間村が町制を施行し、座間町が誕生
昭和16年4月	2町6村（座間町、上溝町、新磯村、麻溝村、田名村、大沢村、相原村、大野村）が合併し、相模原町が誕生
昭和23年9月	座間町が分立
昭和29年11月	市制を施行し、相模原市が誕生
平成15年4月	中核市の指定

(資料：相模原市史)

■城山町

年 月	沿 革
明治22年4月	川尻村、湘南村、三沢村が誕生
昭和30年4月	3村（川尻村、湘南村、三沢村の一部）が合併し、町制が施行され、城山町が誕生

(資料：城山町史)

■津久井町

年 月	沿 革
明治22年4月	三沢村、中野村、太井村、又野村、三ヶ木村、青山村、根小屋村、長竹村、鳥屋村、青野原村、青根村が誕生
明治42年5月	青山村、根小屋村、串川村の3村が合併し、串川村が誕生
大正14年7月	中野村、太井村、又野村、三ヶ木村の4村が合併し、中野町が誕生
昭和30年4月	1町5村（中野町、串川村、鳥屋村、青野原村、青根村、三沢村の一部）が合併し、津久井町が誕生

(資料：津久井町史)

■相模湖町

年 月	沿 革
明治22年4月	小原町、内郷村、千木良村、与瀬駅が誕生
大正2年4月	与瀬駅が町制を施行し、与瀬町が誕生
昭和30年1月	2町2村（小原町、与瀬町、内郷村、千木良村）が合併し、相模湖町が誕生

(資料：相模湖町史)

3. 面積

1市3町の全体の面積は、263.94 km²であり、神奈川県（2,415.69 km²）の約10.9%を占めている。

■ 1市3町の面積

区分	相模原市	城山町	津久井町	相模湖町	1市3町合計	神奈川県
面積 (km ²)	90.41	19.90	122.04	31.59	263.94	2,415.69
面積比 (%)	34.3	7.5	46.2	12.0	100.0	—

資料：県勢要覧〔平成15年度版〕神奈川県企画部統計課

4. 人口・世帯

(1) 人口動向

昭和55年から平成12年までの間は1市3町とも人口は伸びており、概ね1.3～1.5倍に増えている。この間、相模原市は昭和55年から平成12年で439,300人から605,561人と約15万人増えている。

人口の伸び率で見ると、平成7年から平成12年において、相模原市は6%台の伸びとなっている。この時期に人口が減少したのは、津久井町と相模湖町である。

■ 1市3町の人口動向

都市名	国勢調査人口					H12/S55
	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	
相模原市	439,300	482,778	531,542	570,597	605,561	1.4
伸び率		9.9%	10.1%	7.3%	6.1%	
城山町	15,732	19,248	21,535	22,732	23,036	1.5
伸び率		22.3%	11.9%	5.6%	1.3%	
津久井町	20,746	24,460	28,038	30,448	30,345	1.5
伸び率		17.9%	14.6%	8.6%	-0.3%	
相模湖町	9,007	9,845	10,592	11,263	10,896	1.2
伸び率		9.3%	7.6%	6.3%	-3.3%	

資料：国勢調査

(2) 世帯数の推移

平成7年と平成12年の世帯数を比較すると、相模原市の伸び率は最も高い結果となっている。なお、人口の減少が最も大きかった相模湖町では、世帯数も減少している。

■ 1市3町の世帯数の推移

都市名	国勢調査世帯（世帯）		H12/H7 伸び率（%）
	平成7年	平成12年	
相模原市	212,209	237,936	12.1%
城山町	7,208	7,663	6.3%
津久井町	9,046	9,492	4.9%
相模湖町	3,793	3,712	-2.1%

資料：国勢調査

(3) 年齢別人口構成

65歳以上人口の割合は相模原市では11.1%であるが、相模湖町では16%を超えている。

■ 1市3町の年齢別人口構成

都市名	平成12年 国勢調査 年齢別人口（人）				平成12年 国勢調査 年齢別人口割合			
	0～14歳	15～24歳	25～64歳	65歳以上	0～14歳	15～24歳	25～64歳	65歳以上
相模原市	89,531	86,783	362,052	67,174	14.8%	14.3%	59.8%	11.1%
城山町	3,193	3,653	13,507	2,683	13.9%	15.9%	58.6%	11.6%
津久井町	4,669	4,269	17,243	4,150	15.4%	14.1%	56.8%	13.7%
相模湖町	1,513	1,722	5,909	1,750	13.9%	15.8%	54.2%	16.1%

資料：国勢調査

(4) 人口密度

次頁の図は、都市計画基礎調査(H12)における地区（中ゾーン）別の人口密度である。図を見るように、相模原市の東部から津久井町の西部にかけて、人口密度が段階的に小さくなっている。

人口密度

【凡例】 (単位: 人/m²)

- : 0人
- : 1人~50人
- : 51人~100人
- : 101人~150人
- : 151人~200人
- : 201人~300人
- : 301人以上

